

一般乗合旅客自動車（ワンマン）

大型ディーゼルノンステップバス

購入仕様書

（社団法人日本自動車車体工業会 バス車体規格準拠）

令和 2年度

仙台市交通局

I 一般事項

- 1 件名 令和2年度 大型ディーゼルノンステップバス購入
- 2 数量・納入場所

数量	25両	
納入場所	名称	住所
	川内営業所	仙台市青葉区荒巻字三居沢1
	白沢出張所	仙台市青葉区上愛子字下十三枚田30-1
	実沢営業所	仙台市泉区実沢字宮西8
	七北田出張所	仙台市泉区八乙女中央三丁目7-55
	東仙台営業所	仙台市宮城野区燕沢一丁目27-10
	霞の目営業所	仙台市若林区かすみ町9-1
	長町営業所	仙台市太白区長町五丁目8-18
	交通局	仙台市青葉区木町通一丁目4-15
	上記の中で仙台市交通局が指定する場所。	
- 3 納入期限

令和 3年 3月26日	
納入 第1期	令和 3年 2月26日まで 12両
第2期	令和 3年 3月26日まで 13両

 上記の分納する数量については、現段階のものであり、別途、仙台市交通局が指定する。

II 総則

- 1 適用

本仕様書は、令和 2年度にIのとおりに購入する一般乗合旅客自動車（以下「乗合自動車」という。）に適用する。
- 2 概要

車掌を乗務させないで運行することを目的とした乗合自動車で、「道路運送車両法」、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」（バリアフリー新法）、「道路運送車両の保安基準」、「旅客自動車運送事業等運輸規則」その他関係法令、通達に適合し、型式の指定を受けていること。また、2015年以降標準仕様のノンステップバスとして国土交通省の認定を受けていること。
- 3 当事者

本仕様書において、「甲」とは、売買契約を締結した発注者の仙台市交通事業管理者をいい、「乙」とは、その受注者をいう。
- 4 製作

本仕様書に基づいて乗合自動車の製作および試験調整を行い、引き渡すこと。
 なお、本仕様書に記載のない事項であっても、乗合自動車の機能・特性を発揮するために当然必要と認められるものも含まれるものとする。
 また、軽微な仕様変更、納入期限変更についての費用を甲は負担しないものとする。
 本仕様書に疑義が生じた場合は甲乙、協議し定めることとする。
- 5 特許権等の使用

特許権その他第三者の権利の対象となっている製作方法等を使用するときは、その使用に関する一切の責任を負うこと。
- 6 検査
 - 6-1 中間検査

検査は、本仕様書及び製作図書類により甲が行う。
 検査は、中間検査願により、乗合自動車の製作工場において行うものとする。
 - 6-2 完成検査

検査は、本仕様書・製作図書類及び中間検査指摘事項により甲が行う。
- 7 登録
 - 7-1 登録の代行

乗合自動車製作完了後、新規登録のための手続きを代行し、東北運輸局宮城運輸支局長の行う当該検査に合格させること。
 登録番号については、希望番号とし甲より乙へ別途連絡を行なう。また、地方版図柄入りナンバープレート、フルカラー版とすること。
 - 7-2 登録の費用
 - (1) 乙は、登録に必要な手続き及び費用について適切な情報提供と共に、自動車重量税・自動車税(環境性能割)・自動車リサイクル料金の請求を甲の様式による請求書により行い、甲は請求のあった日から2週間以内に支払うものとする。
 - (2) 乙は、自動車損害賠償責任保険の請求を登録予定日の2週間前までに車台番号を記載した書面で行い、甲は登録予定日の前日までに証書を引き渡すものとする。
 - (3) 自動車重量税・自動車税(環境性能割)・自動車リサイクル料金及び自動車損害賠償責任保険以外の新規登録に要する費用は、本契約に含まれるものとする。
- 8 提出書類
 - 8-1 提出書類
 - (1) 以下に掲載する書類を提出すること。
 - (2) 図面は、A2判またはA3判とすること。
 - (3) 提出書類はすべて日本語で表記すること。
 - (4) 契約後、工程表を提出すること。
 - (5) 書類提出後変更が生じた場合は、直ちに変更理由を示して再提出すること。
 - (6) 売買契約締結後、車両価格（標準価格と特別仕様の価格）の内訳書を提出すること。…………… 4部
 - 8-2 製作図書類

製作図書類は以下のとおりとし、各4部を提出し1部を承諾の上返却するものとする。

 - (1) 外装デザイン図
 - (2) 乙の制作仕様書
 - (3) 本仕様書で示した箇所
 - (4) その他、甲が指示したもの

8-3 完成図書

完成図書は次のとおりとし、乗合自動車納入時に提出すること。

- | | |
|---------------------------------------|-----|
| (1) 車体三面図及び軌跡図 | 2 部 |
| (2) 重量分布計算書 | 2 部 |
| (3) 自動車検査証の写し | 2 部 |
| (4) 諸元表（参考図S-1の様式） | 2 部 |
| (5) 車台番号・車体番号及び機関番号表 | 6 部 |
| (6) 乗合自動車を整備するために製造会社が発行しているすべての整備解説書 | 6 部 |
| (7) 部品カタログ（ボディー部品を含む） | 6 部 |
| (8) 配線図（ボディー・シャシ・電装品及びワシマン機器等） | 6 部 |
| (9) 取扱説明書 | 6 部 |
| (10) 写真 | 1 部 |
- 代表1車両について提出すること。（カラー、A4ファイル、電子データ《媒体はCDまたはDVDとする》）
 車両外観（前面・後面・左右側面）、室内（前部・後部）、車内各部所（本仕様書で承諾を求めた箇所等）
- (11) 上記（1）車体三面図、（8）配線図については、電子データ《媒体はCDまたはDVDとする》でも提出すること。
- (12) その他、甲が指示したもの

8-4 報告書

- (1) 社内中間検査報告書
乙による、乗合自動車の製作工場における検査結果。中間検査願とともに提出すること。
- (2) 中間検査作業報告書
中間検査時に甲により指摘された事項の処理報告。車両登録前に提出すること。

8-5 検査願

- (1) 中間検査願
乙による、乗合自動車製作工場における社内検査終了後、提出すること。
- (2) 完成検査願
車両登録後、提出すること。

8-6 その他

- (1) 議事録
車両関係に伴う会議及び打ち合せ等の後、速やかに提出すること。
- (2) 車両引渡書
車両納車時に提出すること。
- (3) 自動車税（環境性能割）申告書（報告書）〔控〕
登録後提出すること。
- (4) 標準仕様ノンステップバス認定書写し
登録後提出すること。
- (5) リサイクル券及び重量税領収書
登録後提出すること。

9 特殊工具

特殊工具は次のとおりとし、乗合自動車と共に納品すること。

- (1) 乗合自動車を整備するために製造会社が特に用意している工具・・・・・・ 6組

10 車両仕様

- (1) 各部の仕様については、「Ⅲ 仕様細則」にて規定する。
- (2) 同等品の使用については、図書による申し入れを行い承諾を得ること。
- (3) ボディー外部塗装デザイン及びデザインシール貼付については、契約後に指示する。
- (4) 学習機能等（オートマチックトランスミッション等）については、納入前に対応すること。
- (5) 新機能等がある場合は、申し入れを行い承認を得ること。

11 装備品の取り扱い

甲より乙へ支給する装備品種類及び引き渡し場所については、「Ⅳ 支給品一覧」による。

乙は、甲より支給された装備品を製作会社へ梱包し発送すること。また、車両への取り付け費用及び装備品を車両へ取り付け十分な性能を発揮させるために必要な部材の購入・製作は本契約に含まれるものとする。

なお、装備品の電気配線については、「Ⅴ 主要機器接続一覧」及び「結線図」による。

乗合自動車納入までに、甲より支給された装備品が性能を発揮することを確認すること。

12 技術指導

資料作成のうえ、取扱説明・技術指導を行うこと。

13 会議及び打ち合わせ

乙は、甲の指示する会議・打ち合わせ等には必ず出席し、打ち合わせ議事録を速やかに提出すること。

14 保証

- (1) 保証期間は、納車後1年とする。ただし、保証期間後であっても設計・工作及び材質の不良等により発生した問題については甲と協議の上、保証の範囲を定める。
- (2) 甲より依頼された回送・性能試験等において発生した事故及び故障については、乙が無償で修復すること。
- (3) 納車後の5000Km走行時の点検整備は乙が無償で行うこと。
- (4) 甲より支給された装備品において、納車までに発生した事故及び故障については、乙が無償で修復すること。

15 その他

- (1) 乙は、保守補修を行える場所を所有し、12ヶ月定期点検を継続して受託できる能力があること。
- (2) 乙は、補修部品を速やかかつ安定的に供給できる体制であること。

Ⅲ 仕様細則

Sシャシ・エンジン関係						
区分	項 目			仕 様		備 考
S100.	車両形式	110	車名			
		120	形式			
		130	全寸法	131	全長	10,420～10,900(mm)
				132	全幅	2,490(mm)
				133	全高	2,850～3,100(mm)
		140	オーバ・ハング	141	フロント	メーカー標準
				142	リヤ	メーカー標準
S200.	車両重量	150	ホイールベース			4,800～5,300(mm)
		210	車両総重量			メーカー標準
		220	乗車定員	221	座席	メーカー標準
				222	立席	メーカー標準
				223	乗務員	メーカー標準
				224	計	メーカー標準
S300.	エンジン	310	冷却系統	311	ラジエータシャット	メーカー標準
				312	ファン	メーカー標準
		320	潤滑系統	321	オイルフィルタ	メーカー標準
		330	ターボチャージャー			メーカー標準
		340	吸気系統	341	エアクリナー	メーカー標準
S400.	車軸関係	410	タイヤ	411	銘柄	ブリヂストン W900 (同等品以上)
				412	種類	ラジアル
				413	サイズ	275/70R22.5
				414	パターン	スタッドレスタイヤ
		420	ディスクホイール	421	サイズ	22.5×7.50-162
		430	ステアリング	431	パワーステアリング	チルト・テレスコが付いていること
		440	車高調整装置		降下方式：メーカー標準	
					(1) 下げ量	
					①スロープ板角度は、7度以下とする	
					②ステップ高さ(270mm以下)まで降下すること	
					(2) 降下及び復帰時間は、5秒程度とする	
					(3) 車高上げ装置：メーカー標準	
					①上げ量は、30mm以上とする	
					②上げ時間は、5秒程度とする	
					(4) 扉連動は、「選択スイッチ付」で取付けること	
S500	動力伝達装置	510	トランスミッション	511	コントロール方式	メーカー標準
				512	変速比	メーカー標準
		520	終減速機	521	方式	メーカー標準
				522	減速比	メーカー標準
		530	クラッチ	531	材質	メーカー標準
		540	自動変速装置			付
S600.	ブレーキ	610	排気ブレーキ			付
		620	A B Sブレーキ			付
		630	リターダ	631	方式	メーカー標準
				632	銘柄・形式	メーカー標準
		640	駐車ブレーキ	641	方式	ホイールパーク式
				642	銘柄・型式	メーカー標準
				643	取付位置	メーカー標準
				644	銘板	ホイールパーク作動方法(75×85mm)
		660	ANBH(停車補助装置)			付
		670	EDSS (ドライバ異常時対応システム)			付 (メーカー標準)
S700.	電装品	710	オルタネータ	711	銘柄	メーカー標準
				712	型式	メーカー標準
				713	電圧	24V
				714	容量	180A以上
				715	レギュレータ	メーカー標準
		720	バッテリー	721	銘柄	G S 製 (同等品以上)
				722	形式	(1) メインは、210H52 (N200) とする。 (2) サブは、寒冷地におけるアイドリングストップ時のワンマン機器の電源として使用に耐えられること(75D23R)
				723	電圧	24V
				724	容量	メイン：160Ah サブ：40Ah以上
		730	メーター	731	スピードメーター	メーカー標準
S800.	その他	810	燃料タンク	811	容量	150リットル以上
				812	取付位置	車体左側
				813	注油孔	注油孔は右側も可納なこと
				814	その他	(1) タンクキャップは開閉し易い構造とすること。 (2) 脱着防止として鎖でボディーに接続するか、キャップ置きを備えること。
						(2) 暖房用燃料配管が備えてあること
						H342参照

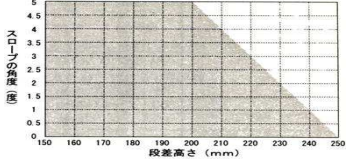
区分	項 目				仕 様	備 考	
		820	配管	821	ブレーキ配管	融雪剤に耐える材料を使用し、防錆処理を施すこと	VIアイドリングストップ仕様参照
				822	燃料配管	融雪剤に耐える材料を使用し、防錆処理を施すこと	
		860	アイドリングストップ装置	861	構造	メーカー標準	
		870	尿素タンク			メーカー標準 増設オプションがある場合は取付けること	
880	牽引用エアパイプ			前後に取付			
A主要構造							
区分	項 目				仕 様	備 考	
A100.	構造	110	構造		メーカー標準		
		120	出入口位置		(1) 入口は、左ホイールベースの間とする (2) 出口は、左フロントオーバーハング部とする		
		130	非常口位置		メーカー標準		
A300.	外板	310	外板		メーカー標準		
		320	雨樋		メーカー標準		
		330	フェンダー		メーカー標準		
A400.	内板	410	天井		メーカー標準		
		420	窓柱かぶせ		メーカー標準		
		430	腰板		メーカー標準 ビビリ対策を行いブラインドリベット止めとすること		
		440	計器板		メーカー標準 両端に水抜き孔を床下までパイプ付で取付けること		
		450	計器板下部		メーカー標準、点検ハンマーを縦面に取付けること		
		460	エンジンルーム隔壁		メーカー標準		
		470	カーテンカバー		メーカー標準		
		480	窓下縁材		メーカー標準		
A500.	ステップ	520	高さ	521	前扉口	メーカー標準(ニーリング時270mm以下、縁材含む) ステップ部の傾斜は5度以内とすること	
				522	中扉口	メーカー標準(ニーリング時270mm以下、縁材含む) ステップ部の傾斜は5度以内とすること	
		530	踏板	531	材質		D226参照
				532	奥行		
		540	縁材	541	前扉口	メーカー標準(両端カットは黄色とする)	
				542	中扉口	メーカー標準(両端カットは黄色とする)	
		560	水抜き穴	561	ステップ水抜き穴	なし	
				562	引扉レール下水抜き穴	メーカー標準	
		580	車いすスロープ板			メーカー標準(脱落防止付) (1) スロープ板の幅は、800mm以上とする (2) スロープ板の長さは、1,050mm以下とする (3) スロープ板の取付角度は、7度以下(150mmのパスベイ及びニーリング時)とする (4) 表面は滑りにくい仕上げとすること (5) スロープ板の使用中はドアが閉まらない機能とすること。 (6) スロープ板の前後側面に反射テープ貼付けること (7) スロープ板の上面先端に傾斜があるときは注意喚起用テープ貼付けること (8) スロープ板の上面先端の傾斜により車椅子の乗り上げに支障がある場合は、補助板を設置すること (9) 補助板は格納できること	
		A600.	断熱	610	天井	611	断熱材
620	側壁			621	断熱材	メーカー標準	
630	エンジンルーム隔壁			631	断熱材	メーカー標準	
				632	構造	BA002またはこれと同等の性能を持つ構造とすること	

B 扉関係									
区分	項 目			仕 様		備 考			
B100.	出入口扉	110	前扉	111	構造	メーカー標準	グライドスライドの場合は足挟み防止付き		
				112	有効開度	メーカー標準			
				113	軸受	メーカー標準			
				114	補助ローラー	メーカー標準			
				115	ガイドローラ	メーカー標準			
				116	手掛	(1)扉内側は、昇降用握棒を付けること (2)室内側の握り棒の高さは、750mmとする (3)室内側の握り棒の立上りは、150mmとする			
				117	扉ゴム	メーカー標準(戸先スイッチ付)			
				118	扉下部防塵	(1)柔軟性があり耐久性に優れていること (防塵ゴム板) (2)洗車機等の使用時は、水の進入が無いこと			
		120	中引扉	121	構造	引扉とする			
				122	有効開度	有効幅は、1,000mm以上とする			
				123	扉ゴム	メーカー標準 (戸先スイッチ付)			
				124	レール	メーカー標準			
				125	戸車	メーカー標準			
				126	ガイドローラ	メーカー標準 (摺り板は、取付ビスの頭が出ないこと)			
				127	引戸振れ止め	メーカー標準：戸当たり側に1組取付			
		150	扉窓	151	ガラス	前扉及び中扉は、強化熱線吸収グリーンガラスとする			
				152	窓ゴム	メーカー標準			
		160	立席制限鎖	161	種類	鎖チェーンの配色は、黄色とする			
				162	取付位置	床面から700mmとする			
B200.	引戸用戸袋	210	戸袋	211	構造	外側は、固定窓とする 内側は、室内側に開扉とし固定窓を付けること 扉はローレットねじ4本止めとする			
				212	ストッパゴム	BB114 中央部に1個を付けること			
		220	安全装置	221	指詰防止装置	戸袋開口部内側柱に切欠ゴムを取付付けること			
		230	戸袋窓	231	ガラス	メーカー標準 (強化熱線吸収グリーンガラス)			
				232	窓ゴム	メーカー標準			
		B300.	扉自動開閉装置	310	戸閉機	311		方式	エア電磁弁式 W電磁弁付 (空気保持型)
312	銘柄・形式					(1)前扉用 指定なし (2)中扉引戸用 泰平製TYS-30C (同等品以上)	別途協議		
313	取付位置					メーカー標準			
314	カバー					(1)点検が容易なカバーを取付けること (2)蝶番を使用する場合は、抜き差し蝶番とする			
320	扉操作スイッチ			321	種類	六合エレメック製・高耐久扉開閉スイッチ (同等品以上) 銘板付	別添参考図 (B-1) 参照		
				322	電気容量	DC24V, 5A			
				323	取付位置	運転席右スイッチボックス上面に、「前」・「後」扉用を銘板付で取付けること			
				324	車外前扉スイッチ	前扉非常解放コック付近にスイッチを取付けること			
330	時限リレー			331	銘柄・形式	泰平製CT-8C (同等品以上)			
				332	取付位置	メーカー標準			
340	間接確認装置			341	方式	赤外線方式 中乗：車内三光束式			
				342	銘柄・型式	泰平製DPX-83-7 (同等品以上) (1)上下の発光部は後側に、受光部は前側に取付けること (2)下側受光部及び発光部にはステンレス製のカバーを付けること (3)配線は着雪に耐えること			
				343	取付位置	(車内) (1)上部 ①高さ：中扉ステップ最下端より400mmとする ②奥行：扉中心より120mmとする (2)下部1 ①高さ：中扉ステップ最下端より50mmとする ②奥行：扉中心より120mmとする (3)下部2 ①高さ：中扉ステップ最下端より50mmとする ②奥行：扉中心より90mmとする また、可能な限り、引戸の中心に近い位置に取付けること		F841参照	
				344	解除スイッチ	(1)切り放しスイッチを付けること (2)スイッチが作動している間は、 ①光電リレーのみの動作を停止すること ②パイロットランプが点灯すること ③警報ブザーが鳴動すること (3)スイッチは、作動状態を保持しない構造のもので、運転席右スイッチボックス内に取付けること			
				350	戸閉スイッチ	351	種類		開閉確認用として、前扉・中扉にスイッチ付で取付けること
						352	電気容量		DC24V, 5A
				353	取付位置	戸閉機に取付けること			
360	予告ブザー			361	種類	無接点ブザー、十分な音量があること。	別添参考図 (B-2) 参照		
				362	銘柄・形式	ゴールドキング製 OGBA-65			
				363	取付位置	中扉部前側上部に表示パネルを確認できるように取付けること			

区分	項 目		仕 様		備 考
	370	扉非常開放コック	371 種類	三方コック (1) 前扉・中扉用を取付けること (2) レバーの配色 ①車内側を赤色とすること ②車外側を黒色とすること	
			372 方式	(1) 前扉・中扉用は、室内外操作式とする (2) 非常用開放元コックは、前扉用コックとする (3) 前扉用コック開放時は、中扉も手動で開閉可能なこと	
			373 取付位置	(1) 前扉用は、ダッシュ盤左床とする (2) 中扉用は、後部床上戸当側とする (3) ボックスカバーはステンレス製とする	
	380	機能	381 前扉	(1) 車内 ①スイッチ操作により開閉すること ②扉が閉まりつつある時は、開扉動作はスイッチの操作に即応すること ③扉が開くと戸閉スイッチがONとなり、アクセルインターロックが作動し、戸開知らせ灯が点灯すること ④メイン電源を切にしたときは、扉の状態を保持すること (2) 車外 ①スイッチの操作による開閉すること ②前扉スイッチの状態及びメイン電源の入切によらず開閉できること ③前扉閉動作後は通電しないこと	
			382 中扉	(1) 中扉スイッチの操作により開閉すること (2) 中扉スイッチの操作後、0.5～0.8秒予告ブザーが吹鳴したのちに開閉すること (3) 扉が閉まりつつある時（戸先と戸当たりの隙間が10mm以上）は、開扉動作はスイッチの操作に即応すること (4) 扉が開くと戸閉スイッチがONとなり、アクセルインターロックが作動し、戸開知らせ灯が点灯すること (5) 戸閉スイッチは戸先と戸当たりの間隔が10mm以内で作動し、OFFとなるよう調整することを標準とすること (6) 扉が開いているときに、乗客が間接確認装置の光軸を遮れば扉スイッチを「閉」にしても扉は閉まらず、乗客知らせ灯が点灯すること (7) 扉が閉のときに、乗客が間接確認装置の光軸を遮っている場合は、扉は開かない (8) 戸先と戸当たりの間隔が10mm以上の時は、光軸等の安全装置が作動中の場合には直ちに開くこと、または、戸先スイッチに圧力を感じた場合に開くこと (9) 扉が閉まりきったあとは、走行中に扉が開かないように二重安全機能とすること (10) メイン電源を切にしたときは、扉の状態を保持すること	
	390	戸先スイッチ	391 銘柄・型式	泰平製DFS-2またはDFS-4（前扉・中扉）（同等品以上） カールコードが見えない様に取付けること	
			392 機能	扉「閉」操作時、スイッチに圧力を感じた場合 (1) 警告音が鳴動すること (2) 扉が反転して開くこと (3) 乗客知らせ灯が点灯すること	F420参照
			393 取付位置	(1) 前扉 ①グライドスライドの場合は、後側扉の戸先とする ②折戸の場合は、左右扉の合わさる戸先とする (2) 中扉は、引戸のボディと接触する戸先とする	
			394 解除スイッチ	(1) 作動状態を保持しない構造のもので、運転席右スイッチボックス内に取付けること (2) 押下時 ①前扉・中扉がそれぞれ単独で、戸先スイッチのみの動作を停止すること ②警告音が鳴動し、警告灯が点灯すること	F841参照
B500.	開扉発車防止装置	アクセルインターロック	511 方式	エアー電磁弁式（同等品以上）	
			512 銘柄・形式	メーカー標準	
			513 取付位置	運転席部に取付けること	
			514 機能	(1) 作動は、アクセルペダルが踏み込めない構造か、エンジン回転を抑制するものとする (2) 前扉・中扉の何れかが「開」時か、または、両方「開」時に作動すること (3) 解除スイッチを前扉非常コック内に取付けること (4) OFF（解除）でパイロットランプが点灯し、警報ブザーが吹鳴すること	
		ニュートラルシフトロック	521 方式	メーカー標準	
			522 銘柄・形式	メーカー標準	
			523 取付位置	メーカー標準	
			524 機能	メーカー標準	

区分	項 目				仕 様	備 考	
B600.	非常扉	610	構造	611	仕様	メーカー標準 扉下面に水抜穴（φ10）を2個設けること	BB052参照
				612	内板	メーカー標準	
		620	開閉機構	621	開閉仕様	BB053 (1) 分解ができて注油点検が容易に行えること (2) 開き位置で保持する装置を付けること	
				622	レバー	メーカー標準	
		630	窓	631	構造	メーカー標準	
				632	ガラス	メーカー標準（強化熱線吸収グリーンガラス）	
		640	警報ベル用スイッチ	633	窓ゴム	メーカー標準	
				641	ハンドルカバー用スイッチ	メーカー標準	
		650	引手	642	ストップ用スイッチ	メーカー標準	
						着席時、乗客の肘が当たらない位置に取付けること	
B700.	点検扉 （走行装置用）	710	扉ロック装置			メーカー標準（扉開保持装置付） （合いマーク付き、B700, B800に同じ）	
		720	エンジンルーム扉			扉左側に乗降中表示灯及び広告枠が取り付けられる構造とすること	
		730	注油孔蓋	731	メインタンク注油孔蓋	メーカー標準（横開き） (1) 車体側面裏蓋に「軽油」と表示すること (2) 蓋に鍵を付けること (3) 燃料キャップ置きを付けること (4) 注油孔全周にステンレス枠を取付けること (5) 注油孔上部に雨樋を取付けること	
		740	注水孔蓋	741	メインエンジン注水孔蓋	メーカー標準（横開き） 銘板：裏蓋に「水」取付け	
				742	尿素水注水孔蓋	メーカー標準 銘板：表蓋面に「尿素水」取付け	
		750	バッテリー格納庫扉			(1) 扉開度は上方に約180度とすること (2) 開き位置に保持装置を付けること (3) 蓋は、防錆処理を施すこと (4) 点検給水が容易なものとすること (5) 水が庫内に入らない構造にすること	
		760	集中給油装置点検蓋				
		770	扉非常開放コック蓋			メーカー標準 室内側蓋には赤枠の中に「非常コック」赤文字記入のこと	
		780	オイルレベル点検蓋				
		B800.	点検扉 （床下擬装用）	810	暖房装置点検扉		
820	冷房装置点検扉				同上	メーカー標準：開き位置保持装置付	
830	引戸レール点検蓋			831	上部レール点検蓋	室内側上部に取付 ローレットビス止め。	
				832	下部レール点検蓋	(1) ストッパーゴムが交換できること (2) ゴミ等が除去できること	

C 窓関係					
区分	項 目			仕 様	備 考
C100.	窓	110	前面窓	111 構造	メーカー標準
				112 ガラス	メーカー標準（合わせ熱線吸収グリーンガラス）
				113 窓ゴム	メーカー標準
		120	後面窓	121 構造	メーカー標準
				122 ガラス	メーカー標準 （強化または合わせ熱線吸収グリーンガラス）
				123 窓ゴム	メーカー標準
		130	側面窓	131 構造	メーカー標準 (1) 上部は、引違窓とする (2) 下部は、固定窓とする (3) 運転席右側は、引違窓とする (4) 特殊部窓は、固定窓とする
				132 窓枠	メーカー標準 配色は、黒またはブロンズとする
				133 ガラス	メーカー標準（強化熱線吸収グリーンガラス） 車外より乗客の膝が見える場合は対策すること
				134 窓ゴム	メーカー標準
				135 サッシュロック	メーカー標準
		140	運転席窓	141 構造	引違窓
				142 ガラス	メーカー標準（強化熱線吸収グリーンガラス）
				143 窓ゴム	メーカー標準
C200.	方向幕窓	210	前方向幕窓	211 構造	BC102-A (1) 車体前面上部に取付けること (2) 系統幕と分割した方式を採用している場合は、窓をフィルムで仕切ること
				212 ガラス	メーカー標準：ヒーター入り
				213 窓ゴム	メーカー標準
		220	側方向幕窓	221 構造	BC104-B (1) 中扉戸袋前側面上部に取付けること (2) 側面窓ガラスと兼用とする
				232 ガラス	メーカー標準（強化熱線吸収グリーンガラス）
				233 窓ゴム	メーカー標準
		230	後方向幕窓	231 構造	BC001（吊り下げ式） (1) 後部上部に取付けること (2) 窓硝子とケース間に防塵ゴム取付けること
				232 ガラス	後面窓ガラスと兼用とする
C300.	行先表示器	310	銘柄		レシップ製LED行先表示器（本体のみ支給） (1) 配線及び支給品を取付けること（スタッドボルト・ナット付き） (2) 行先表示器の取付付近に電源配線を敷設（+- : 1.75mm）すること
		320	前行先表示器	321 型式	レシップ製DFE-17A0-15002（中古支給品） 別添参考図（C-1）参照
		330	側行先表示器	331 型式	レシップ製DFE-18A0-7402（中古支給品） 別添参考図（C-2）参照
		340	後行先表示器	341 型式	レシップ製DFE-19A0-9502（中古支給品） 別添参考図（C-3）参照
		350	操作スイッチ	461 操作盤	レシップ製OBCビジョンに連動 K131参照
		360	制御装置	361 機能	
C500.	方向幕裏蓋	510	前方向幕用	511 構造	(1) 2～3分割式で「開時」保持鎖を付けること（ビニルパイプ被せ） また、上部の鎖が外せること (2) 中央蓋は下蝶番式で8mmステンレス製ボルト頭部の2面巾12mm先テーパー付4箇所止めとすること (3) OBCビジョンの取付に耐える構造であること (4) 裏蓋を開いた時、前扉及びルームミラーに干渉しないこと (5) 前・側・後方向幕ボックス内面の天井・側・底面にウレタンフォーム張りとする
		520	側方向幕用	521 構造	(1) 上蝶番式で開保持鎖付（ビニルパイプ被せ） (2) カバー下面に保護パット取付け、突起物のないこと (3) ロック装置はつまみ埋め込み式とすること
		530	後方向幕用	531 構造	吊り下げ式 (1) 下蝶番式で開保持鎖付（ビニルパイプ被せ） (2) ロック装置はバッチン錠式

D 床関係					
区分	項 目			仕 様	備 考
D100.	床構造	110	客室床構造	メーカー標準	
		120	運転席床段揚げ	付	
		130	後部床段揚げ	(1) 通路段差は、1 段あたり200mm以下とする (2) スロープを併用する場合はスロープ角度を5度以下とすること (3) スロープと段差の間に300mm程度の水平部分を設けること 	
		140	通路	(1) 乗降口付近を除く低床部の通路には段差やスロープを設けないこと (2) 車椅子移動する部分の通路幅は800mm以上とすること (3) 前輪等による車内への干渉部から後方の低床部のすべての通路幅を800mm以上とすること (4) 低床部以外の通路スロープ角度は5度以下とすること	都市型座席配列の場合
D200.	床張	210	床板	板厚は、仕上げ15mm以上の上張付きとする (耐水合板:BD001-B)	
		220	床上張	IMV200-GR (同等品以上) (1) 滑りにくい材質又は、仕上げにすること (2) 接合部は、V字型にカットして溶着すること (3) 配色は、黄赤に対し明度差1.5以上とする	
			221 通路部		
			222 シート下部	IMV200-GR (同等品以上) 配色は、黄赤に対し明度差は1.5以上とする	
			223 フェンダ部	IMV200-GR (同等品以上) 配色は、黄赤に対し明度差は1.5以上とする	
			224 トーボード部	(1) ステンレス板黒塗装仕上げ (2) 脱着可能なマットを取付けること (3) クラッチペダル用フットレストを取付けること	
			225 床段差部	メーカー標準 (1) 滑りにくい材質又は仕上げにすること (2) 配色は、黄赤に対し明度差は1.5以上とする	
			226 出入口部	IMV700-Y (同等品以上) (1) 前扉は、扉開時作動範囲とする (2) 中扉は、ステップ端部から300mmとする (3) 滑りにくい材質又は、仕上げを施すこと (4) 市岡製足型マークを貼り付けること	
		230	床面押え板	通路段差部の端部は、黄色とする	F944参照
		240	床舟底張	床上張の溶着は、特に念入りに行い亀裂等の発生がないこと	
		250	水抜き金具	BD002-A 床に4～5個取付けること	
D300.	揚蓋	310	取付位置	メーカー標準	
		320	本体	メーカー標準	
		330	縁金	受枠及び縁金は、ステンレス材またはアルミニウム材とする	
		340	ロック装置	ボルトは、ステンレス材とする	
		350	引手金具	ステンレス材またはアルミニウム材とする	
D400.	足乗台	411	構造	ボックス式 ノンスリップ(IMV200-GR)張りとし、縁金及び台はステンレス材とすること	
D500.	タイヤハウス	510	前輪	511 構造	2 輪にタイヤチェーンを装着出来る構造であること

E 座席関係						
区分	項 目				仕 様	備 考
E100.	配列	110	形式		メーカー標準 都市型 (1) 優先席は3席とし、左中扉前に2席以上の優先席を設置すること (2) 前扉左側仕切棒より優先席足元スペースまでを荷物置台等の平らなスペースとし、タイヤハウス上の席は取除くこと また、荷物等が落下しないように柵を設けること (3) 塗装等によりフロントガラスの映り込みを防止するように施すこと。また、上面には滑り止め用のマット等を敷設すること	左第1席
		120	座席数		メーカー標準	
		130	配置		メーカー標準	
E200.	上張	210	材質	211	モケット	(1) 一般席は、フレンドブルー（市岡製） (2) 優先席は、ユウセンダイB2（市岡製） (3) 優先席背当及び座面の上張りは、優先席マークが中央になるようにすること
E300.	客席	310	銘柄・型式		メーカー標準（優先席前向き）	
		320	寸法	321	クッション幅	メーカー標準（1人掛け及び2人掛け） （車いす固定部の跳上げシートを除く）
				322	クッション高さ	(1) 床面よりクッション上面までは、約380～430mmとする (2) 足乗台部は、240mm以上とする (3) 優先席は、クッション上面までを400～430mmとする（特殊部を除く）
		330	シートパット	331	シートクッション	ウレタンフォーム
				332	シートバック	ウレタンフォーム
		340	背当板		メーカー標準（腰板と同色）	
		350	アームレスト	351	形状、材質	メーカー標準 (1) 乗降の容易さに配慮し、極力突起物のないものとし、「O」型とすること (2) 客の衣服が引っかからない形状にすること
				352	取付座席	前向席は全て通路側、または、両側に取付
		360	アシストグリップ	361	形状、材質	メーカー標準
				362	肩部	(1) 通路側のスタンションパイプの無いシートに取付けること (2) 跳ね上げシート通路側に取付けること
				363	背当部	メーカー標準 (1) 前向1人掛けシートの背に1個取付けること (2) 2人掛けシートの背に2個取付けること (3) 取付け位置は、別途指示する
		370	脚		鋼管製 BS-4（グレー） (1) 1脚はバケツが出し入れできる間隔を有すること (2) バケツの設置ができない場合は、別途指示する	R920参照
		380	特殊装置		(1) 非常扉の前向き座席は、非常時脱出の妨げにならない構造であること (2) 跳ね上げシート座から腰板間は同生地を着衣汚損防止保護カバー付けること	
E400.	最後部席	410	寸法	411	クッション幅	メーカー標準 座下にロック受け金具を取付けること
				412	クッション高さ	メーカー標準 床面より座面上面まで450mm以下とする
		420	シートパット	421	シートクッション	ウレタンフォーム
				422	シートバック	ウレタンフォーム
E600.	運転席	610	銘柄・型式		メーカー標準：ランバーサポート付	
		620	調節構造		前後上下調節式	
		630	シートパット	631	シートクッション	ウレタンフォーム
		640	ヘッドレスト		付またはハイバック式	
E900.	座席取付品	910	サイドクッション		メーカー標準	
		920	シートカバー		なし	
		970	シートベルト	971	銘柄、型式	メーカー標準：3点式ELR
				972	取付位置	運転席
				973	機能	(1) 警告灯は、メーカー標準とする (2) 装着せずにホイールパークを解除した場合にお知らせブザーが鳴動すること

F 電装品関係					
区分	項 目			仕 様	備 考
F100.	前側面車外灯	110	前照灯	111 灯具・電球	メーカー標準 (1)すれ違い用は、ディスチャージ又はLEDとする (2)ビスはステンレス材とすること（以下の外板電装品も同様とする）
		120	雾灯	121 灯具・電球	メーカー標準
				122 取付位置	メーカー標準
		130	前側面方向指示灯 (非常点滅灯兼用)	131 灯具・電球	メーカー標準
				132 取付位置	前面左右に各 1 灯取付けること
		140	側面方向指示灯	141 灯具・電球	メーカー標準
				142 取付位置	(1)側面の左右に各 1 個取付けること (2)腐食が発生しない構造とする
		170	車外照射灯	171 灯具・電球	レシップ製ST-A321A-LED 7S(20W相当) 台座カバーはステンレス材とし外板と同色に塗ること
				172 取付位置	前扉・中扉の出入口上部に 1 個取付けること
				173 機能	(1)前扉・中扉の何れかが「開」で両方点灯すること (2)両扉が「閉」で遅延装置動作後に消灯すること
		180	路肩灯	181 灯具・電球	オージ製LL-11C1（同等品以上） (1)灯具に水が入らないように対策を施すこと (2)配線の接続は、圧着端子での施工は不可とする (3)裏側に配線収納BOXを取付けること (4)配線に弛みがある時は銅パイプ等の中を通して配線すること
				182 取付位置	後輪前方左右外板に取付けること
				211 灯具・電球	メーカー標準
				212 取付位置	メーカー標準 車両後部左右に取付けること
F200.	後面車外灯	210	尾灯	221 灯具・電球	メーカー標準：角型
				222 取付位置	メーカー標準 車両後部左右に取付けること
		220	制動灯	221 灯具・電球	メーカー標準：角型
				222 取付位置	メーカー標準 車両後部左右に取付けること
		250	乗降中表示灯	251 種類	(1)車椅子用スロープ板使用時は、「車いすマーク」が表示点灯すること (2)扉開に連動して「乗降中」が点灯すること (3)アイドリングストップシステムが作動し、エンジン停止時も動作すること
				252 銘柄、型式	レシップ製DFJ-154同等品
				253 取付位置	車両後部左側に取付
		260	番号灯	261 灯具・電球	メーカー標準
				262 取付位置	メーカー標準
		270	後退灯	271 灯具・電球	メーカー標準
				272 取付位置	メーカー標準 後面左右に取付けること
				273 機能	変速機を後退にしたときに点灯すること
		280	標識灯	281 灯具・電球	なし
				282 取付位置	なし
		290	エンジンルーム灯	291 灯具・電球	メーカー標準、2 灯
F300.	車内灯			292 取付位置	1 灯は、オイル点検が可能な位置に取付けること
				293 機能	バッテリーリーレーがOFF時も点灯すること
		310	室内灯	311 灯具・電球	ゴールドキング製KDL-2B821TC（LED式20W相当）同等品 (1)昼光色、減光機能付き (2)フロントガラスの映り込みを軽減する照度にする こと (3)前側に遮光カバーを取り付けること (4)配線結節はコネクターを使用すること
				312 灯数	メーカー標準：4 灯以上とする
				313 配置	千鳥式：運転席後を # 1 灯とする
				314 回路	メーカー標準：2 回路
				315 調光	# 1 灯は減光（30%）に切替えが行えること（調光付）
		330	出入口照射灯	331 前扉用	レシップ製SY-STP24-LED（LED式）× 2 灯 (1)1 灯はステップをもう 1 灯は料金機を照射すること (2)ステップ上方の天井に取付けること (3)防眩カバーを付けること（約100mm）
				332 中扉用	レシップ製SY-STP24-LED（LED式）× 1 灯 ステップ上方中央の天井に取付けること
				333 機能	(1)前扉・中扉が「開」時点灯すること（昼夜切り替えスイッチ連動時） (2)手動で点灯が可能のこと（単動スイッチ敷設）
					F849参照
					F844参照
		350	読書灯	352 運転席用	24V用LEDランプ L=300mm EA758DK-1（同等品以上） 取付位置はスイッチボックス前端部とする
					F841参照 別添参考図（F-13）参照

区分	項 目			仕 様	備 考
F400.	パイロットランプ	410 戸開知らせ灯	411 灯具・電球	IDEC製APN122DNR（赤色）同等品以上 カバー、銘板付	
			412 取付位置	(1) 前扉用は、ダッシュ盤中央付近とする (2) 中扉用は、前扉上部に乗務員向きとする	
			413 機能	(1) 前、中扉開閉スイッチに連動して点灯すること (2) 電球交換が容易なようにダッシュ盤に小パネルを 掛け、蝶番・開閉用ツマミを取付けること	
		420 乗客知らせ灯	421 灯具・電球	IDEC製APN122DNG（緑色）同等品以上	
			422 取付位置	前扉上部の扉開知らせ灯の左側で、乗務員が確認で きる向きに取付けること	
			423 機能	乗客が間接確認装置を遮断、または、戸先スイッチ を作動させた場合は点灯すること	
		430 停車パイロットランプ	431 灯具・電球	ゴールドキング製PL-4CB（同等品以上）台座付 (1) 一般席用の配色は、赤紫色とする (2) 車椅子用の配色は、黄色とする	
			432 取付位置	ダッシュ盤中央付近とする (1) 一般席用は、左側とする (2) 車椅子用は、右側とする	
		440 ストップランプチェッ カー		ゴールドキング製BLAH-24B（同等品以上） 取付位置は、ダッシュ盤中央付近とする。 但し、制動灯がLED式の場合は不要とする	
		450 方向幕ヒーター		(1) 取付位置は、運転席右側スイッチボックス側面と する (2) パイロットランプは、乳白色13Φを銘板付とする	
		460 ミラーヒーター		同上	
		470 ニーリングパイロット ランプ		車高を「通常走行状態」以外に設定している時は、 点灯すること	
		480 アイドリングストップ パイロットランプ		アイドリングストップスイッチがオンの時は、点灯 すること	
		490 スロープ板パイロット ランプ		スロープ板を使用している時は、点灯すること	
F500.	放送装置	510 ワンマンバス用放送装 置	511 銘柄・形式	レシップ製OBCビジョンに含む。	K131参照
			512 本体	レシップ製OBCビジョンに含む。	K131参照
			513 マイクロホン	なし	
			514 車内放送スピーカー	クラリオン製SPA-919-100（同等品以上） 天井に3箇所取付けること（メーカー標準）	
			515 車外放送スピーカー	クラリオン製SPA-806-101（同等品以上） 中扉前側外板に取付けること	
			516 操作スイッチ	(1) 運転席右スイッチボックスの上面扉スイッチ前に 取付けること (2) 操作機～本体間のシールド線の結線は圧着端子で 行うこと	K136参照 別添参考図（F-1）参照
			517 機能	誘導障害等の影響により雑音等が発生しないよう に、他の配線と結束しないこと	
			518 系統設定器	レシップ製DFLP-03-07（中古支給品） (1) ダッシュ盤左側に取付けること (2) 施工前に図面を提出し承諾を得ること	別添参考図（F-2、 F-3）参照
			520 マイクジャック	クラリオン製PMA-016-100（同等品以上） 運転席右スイッチボックス側面または上面奥に、乗 務員が容易に接触しないように取付けること	
			521 オートスタートユニッ ト	クラリオン製パルス変換器CAA-190-100（同等品以 上）を取付けること	
		540 ラジオ	541 銘柄、型式	クラリオン製CI-1000A（同等品以上）	F611参照
			542 取付位置	(1) 運転席右側に取付けること (2) 施工前に図面を提出し承諾を得ること	同上
			543 アンテナ	クラリオン製PAS-214-100及びHBJ-006-100（同等品 以上）	
			544 車内放送スピーカー	F541に含む	
		560 確認モニタ	561 左方確認モニタ	クラリオン製CJ-7600A（同等品以上） (1) 左側ダッシュバンに取付けること (2) 方向指示スイッチON・OFFでモニターも連動し映像 を映すこと（左折のみ）また、切替で常時映像を 映し出せること (3) モニターの昼夜切替えの電源線は、路肩灯に結線 すること (4) 取付位置、施工前に図面を提出し承諾を得ること	
			562 左方確認カメラ	クラリオン製CC-6110A（同等品以上） (1) 左バックミラーステアにカメラ専用ステーを使用 して取付けること (2) モニタに左側方の死角を軽減させられる映像とな るように設置すること (3) モニター映像が、上(空)、下(地面)、右(ボディ 左側面)、左(歩道・側道)になるように取付けること	
			563 バックカメラケーブル	左側ダッシュ板内～後方行先表示機BOX内に敷設する こと	

区分	項 目			仕 様	備 考																				
F600.	連絡及び警報装置	610 インターホン	611 銘柄・型式	クラリオン製CI-1000Aラジオ付(同等品以上) (1)運転席右スイッチボックス部に取付けること (2)車両メインスイッチに連動し電源が入ること	最低音量保証, 電源スイッチ無効																				
			612 マイクロホン	クラリオン製DMA-109-100-01 (同等品以上) (1)中扉後側外板に取付けること (2)前扉・中扉が同時に「開」, またはどちらかが「開」の時にインターホンで連絡が可能であること。 (3)扉が「閉」時には遅延回路により一定時間連絡が可能であること																					
			613 スピーカー	クラリオン製CI-403A-01 (同等品以上) 一体型																					
		620 乗客降車合図装置	621 銘柄・型式	ゴールドキング製DFPH-WSCT2-2 (同等品以上)																					
			622 押ボタン及び表示装置	(1)押しボタンの色は, 朱色又は黄赤とし, 周囲との明度差が2以上あること (2)英字を併記しているものであること (3)銘柄, 型式 ①側窓柱, 側窓サッシ部及び天井握棒部 オージ製WS-260SS-J1又はWS-260SGS-J1 (同等品以上) ②優先席 オージ製WS-262SS-J1 (同等品以上) ③車いす専用 オージ製WS-261SS-J1 (ボックス付) (同等品以上) ④スタンションパイプ (Hボール含む) オージ製WS-262SS-J1 (同等品以上)																					
			623 制御装置	運転席右肩部ボックスに取付けること																					
			624 合図ブザー	無接点式, 本体に組み込み又は本体の付近に取付けること																					
			625 リセットスイッチ	ゴールドキング製DP-42(リセット・スイッチ一体型) (同等品以上) (1)計器盤部に取付けること (2)一般席及び車いす席用を各1個取付けること (3)押間違い防止のため, 各ボタンを色違いとする																					
			626 点検スイッチ	(1)押しボタンスイッチの機能を点検するための点検スイッチを本体又はその付近に取付けること (2)扉の開閉に関係なく点検可能なこと																					
			627 機能	(1)前扉・中扉「閉」時に押しボタンを押せばチャイムが鳴り, 押しボタンランプ及び停車パイロットランプが点灯すること (2)前扉・中扉の何れかが開くまで消灯しないこと (3)扉「開」時は作動すること (4)車いす専用押しボタンは, 座席の跳ね上げ使用時以外に, 機能しないこと 「降車合図鉤動作及び点灯パターン」 <table><tr><td>押鉤\点灯</td><td>一般席</td><td>車いす①</td><td>車いす②</td><td>消灯</td></tr><tr><td>一般席</td><td>◎</td><td>×</td><td>×</td><td>扉開又はリセット前</td></tr><tr><td>車いす①</td><td>○</td><td>◎</td><td>○</td><td>スロープ板格納 か客席復帰時</td></tr><tr><td>車いす②</td><td>○</td><td>○</td><td>◎</td><td></td></tr></table> ◎:押して点灯○:連続点灯×:不灯	押鉤\点灯	一般席	車いす①	車いす②	消灯	一般席	◎	×	×	扉開又はリセット前	車いす①	○	◎	○	スロープ板格納 か客席復帰時	車いす②	○	○	◎		
			押鉤\点灯	一般席	車いす①	車いす②	消灯																		
			一般席	◎	×	×	扉開又はリセット前																		
			車いす①	○	◎	○	スロープ板格納 か客席復帰時																		
		車いす②	○	○	◎																				
		628 取付位置	(1)窓柱:床面より1,200mmに取付けること (2)天井握棒部:側窓毎千鳥に取付けること (3)車いす専用:右側跳ね上げ座席裏にボックスを作製し取付けること (4)スタンションパイプ (中扉支柱除):床面より1,400mmで後向き45度に取付けること																						
		629 回路	配線は, 天井・右窓・左窓を別回路とする																						
		630 後退ブザー	631 銘柄・形式	メーカー標準, 無接点断続音																					
			632 取付位置	車体後部に取付けること																					
			633 機能	変速機を後退にしたとき吹鳴すること																					
		640 非常扉警報装置	641 銘柄, 型式	メーカー標準																					
642 取付位置	メーカー標準																								
643 機能	非常扉レバーカバー取り外し時または非常扉「開」時に鳴動すること																								
670 無線機	671 銘柄形式	バスロケーションシステムに含む	F960参照																						
	672 取付位置	(1)運転席後仕切板又は右第2柱付近に取付準備																							
F700.	窓用機器	710 ワイパー	711 銘柄・形式	メーカー標準, 間欠装置付																					
			712 方式	メーカー標準																					
			713 取付位置	メーカー標準 モーター及リンク機構は, 脱着及び点検が容易なこと。																					
		720 ウインドウォッシャ	721 銘柄・形式	メーカー標準																					
			722 取付位置	メーカー標準																					

区分	項 目		仕 様	備 考
F800.	スイッチ・ヒューズ及びフラッシャーユニット	810 計器盤の灯火器スイッチ	811 前照灯スイッチ メーカー標準 (1) 表示 (ISO)  (2) 計器灯・車幅灯・尾灯・番号灯・スイッチ併設	
			812 霧灯スイッチ メーカー標準 (1) 表示 (ISO) 	
			813 非常点滅灯スイッチ メーカー標準 (1) 表示 (ISO) 	
			814 バイロットランプ チェックスイッチ メーカー標準	
	820 計器盤のその他のスイッチ		821 ワイパーススイッチ メーカー標準 (1) 表示 (ISO) 	
			822 スタータスイッチ メーカー標準、回転式	
			823 バッテリーリレー スイッチ メーカー標準 (1) 表示 (ISO) 	
			824 集中給油装置スイッチ なし	
			825 排気ブレーキスイッチ メーカー標準 (1) 表示 (ISO) 	
			826 I/Sスイッチ メーカー標準 (押ボタン式) ダッシュ板右側に取付	
	830 その他の位置につくスイッチ		831 ホーンスイッチ メーカー標準 (押ボタン式) ダッシュ板右側に取付	
			832 方向指示灯スイッチ メーカー標準、レバー式 (前照灯減光スイッチを併設)	
			833 減光スイッチ メーカー標準、レバー式	
	840 スイッチボックス側面 スイッチ	841 配列	(1) 上面 (前方から)安全喚起自動放送起動スイッチ、放送装置操作盤、前・中扉開閉スイッチ (2) 側面 (運転席側) 読書灯 (スタッフ用 F350) , 路肩灯・ステップ照射灯, ミラー熱線, 前方向幕窓ヒーター, 昼夜切替スイッチ, 調光, 冷暖房等 (3) ボックス内 光電リレー切放, 前扉反転切放, 中扉反転切放	別添参考図 (B-1) 参照 F350参照
			842 室内灯スイッチ (1) 昼夜切替スイッチを含む (2) 別途 # 1 灯調光用を取付ける	F849参照 F841参照
			844 出入口照射灯スイッチ 照射灯各々に手動点灯用単独スイッチ付	F333参照
			845 路肩灯スイッチ F541を含む	
			847 予備スイッチ なし	
			848 室内灯調光器 ゴールドキング製またはレシップ製	
			849 その他 (1) 銘柄: 昼夜切替スイッチ (2) 形式: 富士電気製RC310-2M2501H1B (3) 接続 ①出入口照射灯: 昼夜切替スイッチが「夜」の時, 各扉連動で各々が点灯すること ②室内灯: 2 系統 ③車外照射灯: 機能はF170参照 ④その他 電照広告器, O B C ビジョン, 段差注意灯等 (4) 予備接点を設けること	
	860 エンジンルームスイッチ	861 点検灯スイッチ 862 バッテリーリレーサブ スイッチ 863 スターターセーフティ スイッチ 864 スターターサブスイ ッチ	メーカー標準 (銘板付) メーカー標準 (銘板付) メーカー標準 (銘板付) メーカー標準 (銘板付)	
			871 銘柄・形式 メーカー標準 (各ヒューズに回路名の銘板付) とするが, 1 回路 1 ヒューズを原則とする	
			872 取付位置 メーカー標準	
			881 方向指示灯用 メーカー標準	
	880 フラッシャーユニット		882 非常点滅灯用 バッテリーリレーがOFFでも動作すること	
			891 取付位置 メーカー標準 (運転席右側) (1) 上面は, ステンレス材の艶消とする (2) 上面窓側に運行指示書設置台を設置すること	K365参照

区分	項 目			仕 様	備 考
F900.	配線・その他の電装品	910	回路図		別途、提出すること
		920	配線	921 配線方法	(1) 回路の分岐は原則として機器端子で行うこと (2) 電線の途中の接続は行わないこと 接続する場合は十分に絶縁すること (3) エンジンルーム内の配線は、加熱部や燃料系の配管等を配慮し接触はしないこと (4) 間接確認装置及び放送装置の配線は、他の配線と同一にしないこと。 (5) ノイズ対策(換気扇等)はできる限り行うこと (6) 金属等の貫通する箇所は、振動等により短絡をしないように保護(ゴムブッシュ等)すること (7) 各ランプ類の配線は修理し易いように余裕を持たせること (8) 屋根上に露出の各配線等は固定すること (9) バスロケ用配線は、他配線からのノイズ対策を行い、アースは単独で接地すること (10) バスロケ取付位置からバッテリーリレー部へ予備配線2本をシールド線で準備すること (11) 運転席～エンジンルーム間の予備線を3本設けること
			922	バッテリーコード被せ	＋極は赤色、－極は黒または緑とする
			923	ターミナル形式	真鍮製の蝶ターミナルナットとする
		930	コンセント	931 点検灯コンセント	銘板付
			932	バッテリーコンセント	銘板付
		940	掲出用電装品	941 急停車注意灯	ゴールドキング製DDPY-31YE LED式(同等品以上) Hポール上部に取付けること
			942	停留所名表示器	(1) レシップ製OBCビジョンに内蔵 (2) 昼夜切替スイッチと連動で減光すること
			943	電照広告器	ゴールドキング製EGP-5A LED式(同等品以上) (1) 運転席後のHポール部に、客席向きで急停車注意灯の下に取付けること (2) 取付ボルトは、ポールを貫通し袋ナットで固定すること
			944	段差注意灯	オージ製ST-300(同等品以上) コントロールボックスは、オージ製ST-C2(同等品以上) (1) 通路の段差に取付けること (1段目及び2段目に取り付け) (2) 降車ボタンランプが点灯した際は点灯すること (3) 前扉または中扉「開」の時は点滅し、「閉」後約7で消灯すること (4) 夜間は、減光すること
		950	緊急連絡装置		(1) 後行先表示器に「SOS」表示する配線を敷設すること (2) 運賃箱のSOSスイッチに結線すること
		960	バスロケーションシステム	961 銘柄形式	(1) 無線付バスロケ車載器(中古支給品) (2) 通話先切替器(中古支給品) (3) 電源は、メインスイッチに連動すること
			962	取付位置	(1) 運転席後仕切板又は右第2柱(運転席右後方)付近に、納入後に甲側で施工するための取付準備を行うこと (2) GPSアンテナ(支給品)をダッシュボード前方に取付ける また、配線(支給品)を敷設すること
		970	ドライブレコーダー		(1) レゾナントシステムズ製DRV-3100ECOをAGSボックスに納入後に甲側で施工する取付準備を行うこと (2) GPSアンテナ(支給品)を屋根に取付ける また、配線(支給品)を敷設すること (3) カメラの配線を敷設すること 設置位置は、別途指示する
		980	安全喚起自動放送装置	981 銘柄形式	レゾナントシステムズ製DMK-800(同等品以上)
			982	取付位置	(1) 運転席右スイッチボックス上面前方に起動押釦を取付けること。 また、図面を提出し承諾を得ること (2) 起動ボタン押下時のみ起動すること (方向指示器等には連動しないこと) (3) 昼夜音量の切替は、路肩灯より結線すること

G 仕切構造及握棒						
区分	項 目				仕 様	備 考
G100.	運転席仕切構造	110	構造		メーカー標準（乗客が立席握棒として使用できる構造とすること）	
		120	仕切板		メーカー標準 (1) 上部H棒右にポリカーボネート板を取付けること (2) 上部仕切板の客席側に名札差し、急停車注意灯、電照広告器を取付けること (3) 仕切板の客席側通路寄りにパンフレット入れ1個を取付けること (4) 下部仕切板の運転席側にフック3個、赤旗と停止表示板を取付けること	K366参照
		130	仕切棒		メーカー標準	
G200.	出入口仕切	210	前扉部仕切		メーカー標準	グライドスライドの場合はポリカーボネート板取付（飛出防止用）
		220	中扉部仕切		メーカー標準（乗客が立席握棒として使用できる構造とすること）	
		230	仕切板		メーカー標準（両替器前部に隙間が生じた場合は、防風板を取付けること）	
G300.	その他仕切	310	シート前仕切		メーカー標準（床段差部には握棒または手すりを設置すること）	
G400.	握棒	410	天井握棒		メーカー標準（パイプは、全てステンレス材） 中央1本、左右各1本を取付けること	
		420	前扉昇降用握棒		(1) パイプ径は、25mm程度とする (2) 色は、朱色または黄赤とする (3) 表面は滑りにくい素材や仕上げとすること (4) 乗降のための握棒を両側に設置すること	
		430	中扉昇降用握棒		(1) パイプ径は、25mm程度とする (2) 色は、朱色または黄赤とする (3) 表面は滑りにくい素材や仕上げとすること (4) 乗降のための握棒を両側に設置すること	
		440	計器盤握棒		(1) パイプは、ステンレス材とする (2) 両替機左前に逆U型を、両替機前に設置する物が取出す際に支障がない構造とすること	
		450	吊革		稲垣製BG135-E型 天井握棒に高さ（吊輪下端より）左右は、1,600mm、中央は、1,630mmで取付けること また、取付及び配置等は、図面を提出し承諾を得ること	G410参照
		460	出入口上握棒		メーカー標準	
		470	立席握棒		メーカー標準 (1) パイプ径は、30mm程度とする (2) 色は、朱色または黄赤とする (3) 表面は滑りにくい素材や仕上げとすること (4) 握棒及び手すりは、伝い歩きを考慮した配置にすること (5) 縦握棒を座席1列ごとに1本配置すること (6) 車いすスペース（背が可倒式の座席を除く）は、その前後に配置すること (7) フロントタイヤハウス上部右側に手すりを配置しすること (8) フロントタイヤハウス上部左側に手すりや伝い歩き棒を配置すること (9) 前扉から両替機の間に手すりまたは握棒を配置すること	E110参照
		480	車椅子用握棒		車いす利用者用の手すり取付けること	
G600.	その他	610	パイプ保護クッション	611	材質・形状 メーカー標準・BG024 クッション色は黄赤の艶ありとする	
				612	取付位置 (1) BG131-A (2) 前扉・中扉の仕切棒 (3) その他 G130, G210, G220, G310, G460, G470, G480	

H 通風・冷房装置					
区分	項 目			仕 様	備 考
H100.	強制通風装置	110	天井換気扇	111 銘柄・形式	ゴールドキング製VFM-234C-26（同等品以上）
				112 取付位置	車内前・後各１個で、腐食・雨漏れが発生しない対策を施すこと
		120	吸排気装置		H111に含む
H200.	デフロスタ	210	温水式	211 銘柄・形式	三国製RD6AN-3（同等品以上）
				212 本体	(1)放熱量は、4,000Kcal/h以上とする (2)脱着が容易にできること。
				213 前窓吹出口	メーカー標準
				214 運転席吹出口	(1)足元用を風量調整付で取付けること (2)右窓
				215 スイッチ及び切替装置	メーカー標準
				216 配管	(1)暖房装置の配管（温水）に接続すること (2)フレキシブルホースはステンレス製とする（床下配管除く） (3)その他についてはH314項参照のこと
H300.	暖房装置	310	温水式	311 銘柄・形式	三国製RH4AR-22（同等品以上）
				312 本体	(1)放熱量は、4,000Kcal/h以上とする (2)客席下に２台を取付けること (3)吹出口に防傷板を取付けること (4)端部にモール付
				313 スイッチ及び切替装置	F840参照 １台に付きスイッチ１個を銘板付で取付けること
				314 配管	(1)エンジン冷却系統と独立した暖房系統を構成できるバイパスシステム、または、これと同等の性能を有するものとする。（暖房立ち上げ時に水温の上昇を早めるシステム） (2)ホースバンドは、パイプ、ホース径に見合ったホースバンドを使用すること (3)室内は床上配管とし、右側腰板にそって配管すること (4)配管カバーはステンレス製とし、点検が容易なように分割式とする また、乗客が踏むところはアルミ筋板張りとする (5)配管はポリプロピレンパイプ3/4インチを使用し、接続はステンレス製フレキシブルパイプを使用すること (6)本体と主配管の接続部にはステンレス製フレキシブルパイプを使用し、接続部は、客室内に露出しないよう脱着式防護カバーで遮断すること (7)ラバーホースを使用する場合は、JIS規格D2602に適合し耐久性のあるものを使用すること (8)配管の各底部には、ドレンコックを設置すること (9)ストップバルブは不銹材料製ゲートバルブを使用すること (10)循環用水ポンプは、三国製CP40A-3（同等品以上）を取付けること
		330	ステップヒーター	331 種類	温水式
				332 銘柄・形式	三国製RH4AR-22（同等品以上）
				333 取付位置	(1)中ステップ付近で、中扉の融雪等を溶かす位置に配置すること (2)その他はH312, H313, H314参照 また、図面を提出し承諾を得ること。
		340	予熱温水式	341 銘柄・形式	エバスベヒャーミクニ製ハイドロニックL24（同等品以上）取付
				342 本体	(1)燃料は、軽油とする (2)燃料ポンプ及び戻りホース取付
				343 取付位置	メーカー標準 操作スイッチは、F840参照
H400.	冷房装置	420	メインエンジン駆動式	421 銘柄・形式	メーカー標準 シーズンオフ時ライトまたは昼夜切替スイッチ等により冷房サイクルが作動すること
				422 ダクト	上部は、風向き調節付の固定式とする 下部は、可変式とする 運転席は、シャッター付の可変式とする カバーに広告枠を取付ける

J 車外取付品						
区分	項 目			仕 様		備 考
J100.	バンパ	110	フロントバンパ		メーカー標準	
		120	リヤバンパ		メーカー標準	
		130	バンパデッキ		メーカー標準（フロント・リア）	
J200.	ミラー	210	リヤビューミラー		大東製DI-Z-7（ヒーター入り）（同等品以上） (1) 左側は、吊り下げ式とすること（走行中振れを起こさないこと） (2) 右側は、直付け式とする (3) 背面は、白色する (4) 配線グロメットは穴埋めをすること	
		220	アンダーミラー		大東製DA-147（同等品以上） 背面白色	
		230	サイドアンダーミラー		大東製DA-200（220×170）（横長）-300R (1) 左側ステーに取付けること (2) 運転席に座って確認した際に、他のものと干渉しないこと (3) 背面は、白色する	
J300.	表示	320	ワンマン関係表示	321	出入口表示 ステッカー式（英語表記記入） BJ107-C（入口） 位置は、中扉後側とする BJ103-C（出口） 位置は、前扉後側とする	
				322	インターホン銘板 BJ104を150%拡大する 位置は、インターホンマイク上部とする	
				323	車いす乗車表示銘板 (1) BK007-A 中扉後窓BJ107-C（入口）上側に貼付けること (2) BJ011-A 前方向幕窓左側に貼り付けること	
				324	ベビーカー表示銘板 (1) BJ108-B 中扉後窓BJ107-C（入口）上側に貼付けること (2) BJ108-A 前方向幕窓右側に貼り付けること	別添参考図（L-2）参照
				325	EDSS装着表示銘板 BJ015 位置は、中扉後側窓ガラス下方前寄りとする	
J500.	前後面取付品	510	牽引用フック		メーカー標準（車体の前面・後面に各1個づつ銘板貼付）	
		550	清掃用握手		形状、取付位置は、別途指示する	
J700.	床下臓装品	710	ジャッキアップポイント		メーカー標準 (1) 前輪・後輪の後側、横根太に左右対象1ヶ所づつ取付けること（計4か所） (2) ポイント部下面は、100×100mm以上の鋼鋼板とする (3) 泥除けと干渉しないこと (4) エアペローズの取替作業の妨げとならないこと (5) フレームの腐蝕等を考慮した十分な補強をすること	
		720	泥除ゴム		(1) 前輪・後輪の後側に1枚づつ取付ける（計4枚） (2) 取付部に隙間がないこと。 (3) 床下機器に支障がない場合は不要とする、	
		730	バッテリー格納装置		(1) 点検等の際は、容易に確認できること (2) 補充する際は、給水が容易にできること (3) 防蝕対策を十分に施すこと (4) メインスイッチ等を併設しないこと (5) バッテリーは、直角積みとする (6) 引き出しローラー径は、出来る限り大きくすること (7) 水抜き穴は、30Φで2か所設けること (8) 水抜き穴先端にビニールパイプを取付けること	

K 車内取付品									
区分	項 目			仕 様		備 考			
K100.	運賃機器	110	運賃箱	111	銘柄・形式	レシップ製LF-C-EC0060（中古支給品）	別添参考図（K-1）参照		
				113	大きさ	別添参考図（K-1）参照			
				114	取付位置	運転席左側で乗客の通行を妨げないこと また、図面を提出し承諾を得ること。			
				115	取付台	(1) 高さは、通路床面より両替器上面（運賃投入口上面）まで1,045mmとする。（台の高さは約235mm） (2) 乗客の通行を妨げないこと (3) 下部にタイヤチェーン 3 組が納められる格納箱を設けること (4) 腐食しにくい構造と材料を使用すること (5) 図面を提出し承諾を得ること。	K930参照		
				120	整理券発行器	121	銘柄・形式	レシップ製LTM01-0283（中古支給品）	別添参考図（K-2）参照
		123	大きさ			別添参考図（K-2）参照			
		124	取付位置			取付台上にK160と並列で右側（中扉側）に取付けること			
		125	取付台			(1) 車内中扉後側とする（左後側タイヤハウス前側） (2) 上面の左側に取付けること (3) 整理券器脱着時の作業性を考慮した小扉を取付けること (4) 図面を提出し承諾を得ること。			
		126	操作盤			レシップ製OBCビジョンに内蔵			
		130	運賃表示器	131	銘柄・形式	レシップ製OBCビジョンDFL-1522-223J（中古支給品）	別添参考図（K-3）参照		
				132	配線方法	(1) 昼夜切り替えスイッチと連動で減光すること。 (2) LANケーブルの両端部には、接続する機器が分かるよう目印等で明記すること			
				133	大きさ	別添参考図（K-3）参照			
				134	取付位置	前方向幕裏蓋部に取付けること			
				135	取付台	レシップ製取付ステー(L), (R)	別添参考図（K-4）参照		
				136	操作盤	レシップ製DFLR-06-01（中古支給品）（系統設定器） ダッシュ盤左側に取付ける また、図面を提出し承諾を得ること。	別添参考図（F-1）参照		
				137	電源スイッチ	OBCビジョン用電源スイッチKDL-100（中古支給品） ダッシュ盤左側に取付ける また、図面を提出し承諾を得ること	別添参考図（K-5）参照		
		150	乗客数計測器						
		160	IC乗車側アンテナ	161	銘柄・形式	レシップ製SCU-10（中古支給品）	別添参考図（K-6, K-7）参照		
				164	取付位置	K125上面の右側に台等を制作し取付けること また、図面を提出し承諾を得ること。			
				170	無線LANユニット	171	銘柄・形式	レシップ製MP-7014（中古支給品）	別添参考図（K-8）参照
		174	取付位置			(1) 右第2柱（運転席右後方）付近でアンテナ先端の高さがガラス面の上端から出る位置に取付けること また、図面を提出し承諾を得ること。 (2) LANケーブルの両端部には、接続する機器が分かるよう目印等を明記すること			
K200.	銘板	210	出入口用銘板	211	出入口扉車内銘板	英文字表記記入 BK116-B 中ステップ上に貼付けること BK117-B 前ステップ上に貼付けること			
				212	ステップ乗車注意銘板	BK118-E 前扉部に 2 枚貼付けること BK118-F 中扉部に各 2 枚、中扉上部戸袋に 1 枚、中ステップ後仕切板に 1 枚を貼付けること			
				213	扉開閉予告銘板	BK-113-B 中ステップ上に貼付けること			
				214	自動扉注意銘板	BK-114 (1) 前扉がグライドスライド扉の場合は、支柱カバーに取付けること (2) 中扉は扉本体の上部に取付けること			
				215	扉非常開閉表示銘板	BK112-A 冷房ダクトと腰板部に各 1 枚を貼付けること			
				216	非常扉用表示銘板	BB058-B, BB058-C 床上1,200mm以上で非常扉ガラスの中央付近とする BK024 非常扉開閉ハンドルのカバーに取付けること	B622参照		
				220	禁止行為銘板	221	危険物持込禁止表示銘板	BK021-B 中ステップ後方に貼付けること	
						222	禁止行為表示板	BK022-B 前扉・中扉上部に貼付けること	
						223	禁煙銘板	BK023-D（ステッカー式） 前・後方向幕裏蓋に貼付けること	

区分	項 目			仕 様	備 考
	230	その他銘板	231	乗客降車合図表示銘板 BK111-A (1) 側柱は、押しボタン上部に貼付けること (2) 天井は、進行方向に押ボタン後側で下端が前方、上側が後方になるように貼付けること (3) 押しボタンに降車合図表示がある場合は取り付けなくてもよい	
			233	事業者名銘板 「仙台市営バス」銘板（40×200mmアクリル板で地グリーン白色丸ゴシック文字） 前方向幕裏蓋に取付けること 「仙台市交通局」銘板（40×200mmアクリル板で地白色黒丸ゴシック文字） 前扉上部に取付けること	
			234	ミッション操作位置銘板 メーカー標準	
			237	暖房銘板 BK031-B ヒータ本体取付部腰板またはシート背裏に貼付けること	
			238	その他の銘板 (1) BK042（頭上注意用表示銘板） 後方向幕裏蓋に貼付けること (2) BK043またはBK044（上り・下り段差注意用表示銘板） ① 中ドア後方床段差部（蹴込み・天井・仕切板前後通路側等）に取付けること ② 天井に「ピクトグラム＋文字」を吊るすこと ③ その他必要と思われる場合は、別途相談 (3) 「バス優先にご協力お願いします」（400×200mm） 後面ガラス又は外板に保護シート付で貼り付けること	
	240	座席・車いす関係銘板	241	車いす乗車位置表示銘板 BK025-C 車椅子固定部腰板に座席毎に貼付けること BK025-B ダッシュ盤に貼付けること	
			242	車いす固定方法銘板 BK029-B 跳ね上げ座席部の前から#1と#2座席間の腰板に保護シート付きで貼付けること BK029-D 跳ね上げ座席部の前から#3と#4座席間の腰板に保護シート付きで貼付けること	
			244	跳ね上げシート操作銘板 BK030-A BK0290-B及びBK030-Dの下側に保護シート付きで貼付けること	
			245	優先席用表示銘板 BK040-B 優先席付近の腰板に貼付けること	
			246	ベビーカー位置表示銘板 BK121を貼付 前方向幕窓外側右に貼付けること	
			247	ベビーカー固定方法表示銘板 BK122を横込み	
K300.	掲出用具	310	車外向け表示	313 補助方向板	なし
		320	名札差し	321 名札差し	ゴールドキング製DDPY-270-G LED式（同等品以上） Hボール上部に取付けること 電源はメインスイッチ連動（常時点灯）
		330	路線系統図枠	331 路線図枠	広告枠を兼ねる。
				332 系統図枠	広告枠を兼ねる。
		340	広告取付用具	341 広告枠	(1) 冷房ダクト部にレール式取付（リベット止め）区切り線を520mm間隔（紙寸515×365mm）で設置すること (2) ダクト及び内板の固定方法は、可能な限りステンレスリベットを使用すること (3) 区切り1区画に対し巾40mmの透明アクリルバンド2本分を横込むこと
		360	その他用具	361 検査証入れ	BK011-A（外枠） (1) 前方向幕裏蓋右側に取付けること (2) 天井と同色に塗装すること BK011-B（ケース） 積み込み
				364 記録簿入れ	Hボール運転席側に取付けること
			365	運行指示書設置台	スイッチボックス上面窓側に設置すること
			366	パンフレット入れ	ゴールドキング製 MGCK-3K同等品 中扉前側仕切板、運転席後仕切板の客席側に「ご自由におとり下さい」銘板付で取付けること
			367	バインダー入れ	運転席右側にA4サイズのバインダー（240×330mm）を横向きで立てて収納できるケースを取付けること
K400.	遮光装置	410	サンバイザー		BK006 吊り下げ式取付 運転席右窓にスライド式サンバイザー取付けること
K500.	ミラー	510	室内鏡		BK101-B 前面窓上部中央に取付けること BK001（ボールジョイント型） 右第1柱上部に取付けること
		520	乗客直接確認装置		BK101-B 前面窓左側上部に取付けること BK102-B（ボールジョイント型） 中扉ステップ後側上部天井に取付けること

区分	項 目				仕 様	備 考
		530	前ステップ乗客確認アンダーミラー		大東製DA-200背面白色(同等品以上) 前ステップ上部に取付けること また、図面を提出し承諾を得ること	
K600.	荷物棚	610	運転席荷物棚		(1) 箱型 (H300mm×L480mm×W300mm) (2) 運転席右天井部に取付けること (3) 蓋は観音開きとし内部はラシヤ、外部はレザー(天井同色) 張りとする	
K700.	保安用具	710	消火器		蓄圧式ABC粉末タイプ(薬剤重量1.8Kg以上) (1) 取付場所は別途指示する (2) 床より20mm上げて取付けること (3) 運転席や機器等に接触しないようにすること。	
		720	信号炎筒		JISD5711ハイレフレーザー5 運転席付近に取付けること	
		730	赤旗		BK013 運転席後仕切り板下部に運転席側にケースに入れて取付けること	G120参照
		740	信号灯		なし	
		750	車輪止め	751 個数	メーカー標準 (BK005×2個 樹脂製)	
				752 格納位置	室内前扉付近に銘板付とする 黄黒ロープ両端に取付けること	
		760	工具箱		(1) 箱型 (H200. L350. W150mm以上) (2) 運転席付近にBS-3塗りで蓋付ものとする (3) K790停止表示板が収納できること	
		770	物入庫		(1) 内部ラシヤ張りで外側腰板同色塗りとする (2) 運転席付近床面に取付けること	
		790	停止表示板	791 取付位置	K760に格納または運転席仕切板下部に取付け	G120参照
K800.	乗客サービス用品	830	寒暖計		右第2柱付近で外気温の影響を受けない場所に取付けること	
		870	車いす固定装置	871 車いす固定位置・個数	(1) 位置は、メーカー標準(車両右側で乗降口から3,000mm以内) (2) 個数は、2台分とする	
				872 固定ベルト	(1) 右#2・3席用 ①BK026-D×1本 ②BK026-E×1本 端末金具及び引掛け金具は、フラット型とする ③BK026-F×2本 端末金具及び引掛け金具は、フラット型とする (2) 右#4・5席用 ①BK026-G×1本 引掛け金具は、フラット型とする ②BK026-H×2本 引掛け金具は、フラット型とする ③リトラクター付車両設置型(人保持用)×1本 端末金具は、フラット型とする ④(2)①は、右#3席脚に取付けること ⑤(2)②、③は、右#5席後側に取付けること また、全体を覆う防塵用カバーを取付けること	
				873 固定金具	BK028(前向き固定)	
				874 収納箱	(1) 右#1席後に設置すること (2) K872(1)①～③及びK875が収納できること	
		880	ベビーカー固定装置	881 固定ベルト	BK120-A 2台分を積込むこと ベルトの色は黒色とする	
K900.	その他	910	モップ格納箱		(1) 大きさは、H200. L300. W150mm 排水パイプ付でステンレス製とする(蓋付) (2) 中扉前側仕切板と、その前席間に取付けること (3) 中扉前側仕切板のその前席側にモップ・ほうき掛け金具を取付けること	
		920	バケツ置き場		(1) 位置は、E370参照 (2) 格納時は、乗客等に影響を与えないこと また、バケツが転動しないようにステンレス製の受け金具を設置すること	バケツサイズ： 高さ200mm 上口300mm程度
		930	タイヤチェーン格納箱		(1) 両替器取付台内に格納すること (2) タイヤチェーン3組が納められること (3) チェーン収納時、格納箱止具がチェーンに干渉しないよう対策し、上蓋は揺動で開閉しないようにすること。 (3) 材質は、ステンレス材とする (4) 水抜きは、パイプ付とする	K115参照 タイヤサイズ： 275/70R22.5
		940	枕木置き		枕木の大きさは、120mm角、長さ750mmで、2本が固定して置けるものを設けること	
		950	寝板格納箱		寝板の大きさは、450mm×900mm t=5mmの合板で、1枚が固定して置けるものを設けること	
		960	スロープ補助板格納箱		補助板が固定して置けるものを設けること	A580参照

L 塗装						
区分	項 目				仕 様	備 考
L100.	防錆処理				(1)融雪剤に耐える材料を使用すること (2)下回り等 ①アンダーコート ・性能は、SBコート（東京化学塗料㈱）以上とする ・シャン・パイプ関係も塗布すること ・タイヤカバー内面等腐食しやすい部分にも塗布すること ②防錆ワックス 性能は、ノックスラスト（日本パーカーライジング㈱）以上とする (3)各部材内側 性能は、ホットワックス（日本パーカーライジング㈱）以上とする	
L200.	塗料				ウレタン塗装	
L300.	外部塗装	310	デザイン		デザイン・塗装図については、図面を提出し承諾を得ること。	
		320	塗色		(1)BSU-6042（グリーン） 全体 (2)BSU-5014（ブルー） 帯、下 BSU-4018 イエロー 帯	
		390	補修用塗料		L320参照，L510参照 数量別途指示	
L400.	車内塗装	410	天井		(1)塩ビ鋼板の場合 BSP-4（淡グレー）とする (2)その他の材質の場合 BS-4とする (3)リベット・ビス類同色に塗ること (4)黄赤に対して明度差をつけること	
		420	窓柱被せ		L410参照	
		430	腰板		L410参照	
		440	計器盤	441 上面 442 下部	メーカー標準 (1)塩ビ鋼板の場合 BSP-4（淡グレー）とする (2)その他の材質の場合 BS-4とする	
		460	エンジンルーム隔壁		メーカー標準	
		490	扉内面	491 前扉 492 中扉	メーカー標準 L410参照	
		510	バンパー		仕上げはシルバーとする	
		530	バッテリー格納庫内面		(1)耐酸塗料 (2)仕上げ後に、アンダーコートを面に塗布すること（ローラー及びレール部は除く）	
L500.	外部特殊部塗装	540	ディスクホイール		メーカー標準	
		550	車外ミラー背面		白色	
		560	床下		L100参照 点検扉・リッドの裏面は黒色で塗装すること	
		610	仕切板		L410参照	
		620	室内ミラー背面		メーカー標準	
L600.	車内特殊部塗装	630	シート脚		L410参照	
		640	シートバック背面		L410参照	
		710	ユーザーマーク		「仙台市紋章」（Φ240の黒色） 左右フロントタイヤ後方500mmの位置に貼付けること	別添参考図（L-1）参照
L700.	マーク・文字等	720	事業者名		「仙台市営」（白色，丸ゴシック） 窓下リヤタイヤハウス前端付近から，外板青帯内に貼付けること	
		740	ドレンコック表示マーク		BJ008を各リットに貼付けること	
		750	業態表示		「一般乗合」（左読みで60角丸ゴシック白文字） (1)左側2柱の後側（BJ103-C（出口）の後側），外板青帯内に貼付けること (2)右側2柱後の窓下，外板青帯内に貼付けること	
		760	ノンステップマーク及び文字		「ノンステップバス」（左読みで文字高さ85mm） (1)クリムゾンレッド（色番号：3M JS1225XL） 前面窓と左前照灯間の外板緑帯内に貼付けること (2)白（色番号：VC900） ①右側は前タイヤハウス付近，外板青帯内に貼り付けること ②左側は横方向幕ガラス付近，外板青帯内に貼り付けること (3)ネイビーブルー（色番号：3M JS1642XL） 後面窓とエンジンリット上端の中間，外板真中に貼り付けること	別添参考図（L-2）参照

M 積込品						
区分	項 目				仕 様	備 考
M100.	掃除道具					
M200.	各種装置キー				注油孔キー	
M400.	保証書				別途指示	
M500.	説明書・配線図				別途指示	
M600.	その他	610	上敷		メーカー標準	
		660	車椅子固定ベルト		K870による	
		670	車椅子用輪止め		なし	
		680	ベビーカー固定ベルト		K880による	
		690	その他		点検ハンマー 工具 5 点セット袋入り モンキー200 プライヤー200 ドライバー (+100・+75・-100) 車いす乗車表示銘板BJ011-A反射式 (前面予備品 1 枚) 車いす乗車表示銘板BJ011-A (後面予備品 1 枚) ベビーカー乗車表示銘板BJ108-A 上り段差注意用表示銘板BK043 (予備品 2 枚) 下り段差注意用表示銘板BK044 (予備品 2 枚) バス優先ステッカー保護紙付 (予備品 1 枚) 車いす固定方法銘板BK029-C保護フィルム付 (予備品 1 枚) 車いす固定方法銘板BK029-D保護フィルム付 (予備品 1 枚) 跳ね上げシート操作銘板BK030-A傷防止用透明保護フィルム付 (予備品 1 枚) ベビーカー位置表示銘板BK121 (予備品 2 枚) ベビーカー固定方法表示銘板BK122 広告枠用アクリルバンド 検査証入れケースBK011-B 車輪止め: 2 個 停止表示器 (ケース付) 固定補助ベルト: 車椅子固定台数分 補修用塗料 前面用「ノンステップバス」文字ステッカー (予備品 1 枚) スロープ板マイクロスイッチ (予備品 2 個) 中扉戸閉機マイクロスイッチ (予備品 1 個) 中扉指つめ注意喚起用ステッカー 2 枚 標準仕様ノンステップバス認定標準ステッカー 3 枚 バケツ (K920で有効な置き場がないときは折りたたみ式)	J323参照 J323参照 J324参照 K238参照 K238参照 K238参照 K242参照 K242参照 (車両設置型のとき) K244参照 K246参照 K247参照 K341参照 K361参照 K751参照 K790参照 K870参照 L390参照 L760参照

IV 支給品一覧

メーカー	品名	引き渡し場所	参考図番	型式	備考
レシップ(株)	前LED行先表示器	交通局 各営業所	C-1	DFE-17A0-15002	C320参照 本体のみ
	側LED行先表示器	交通局 各営業所	C-2	DFE-18A0-7402	C330参照 本体のみ
	後LED行先表示器	交通局 各営業所	C-3	DFE-19A0-9502	C340参照 本体のみ
	系統設定器	交通局 各営業所	F-2	DFLP-03-07	F518参照 本体のみ
	運賃箱（IC付）	交通局 各営業所	K-1	LF-C-EC0060	K111参照 本体のみ
	整理券発行器	交通局 各営業所	K-2	LTM01-0283	K121参照 本体のみ
	運賃表示器（OBCビジョン）	交通局 各営業所	K-3	DFL-1522-223-J	K131参照 本体のみ
	操作スイッチ	交通局 各営業所	F-1	DFLR-06-01	F516参照 本体のみ
	電源スイッチ（OBC用）	交通局 各営業所	K-5	KDL-100	K137参照 本体のみ
	IC乗車側アンテナ	交通局 各営業所	K-6	SCU-10	K171参照 本体のみ
NEC（宮城通信機）	無線LANユニット	交通局 各営業所	K-8	MP-7014	K181参照 本体のみ
	バスロケ無線機用GPSアンテナ	交通局 整備課	F-12		F960参照
(株)レゾナント・システムズ	バスロケ無線機用配線	交通局 整備課			
	ドライブレコーダー用配線	交通局 整備課	F-7		F970参照
	ドライブレコーダー用GPSアンテナ	交通局 整備課			

V 主要機器接続一覧

メーカー	品名	メイン電源	バックアップ電源	ドア連動
レシップ（株）	運賃箱（IC付）	サブバッテリー	メインバッテリー	運転席スイッチ
	整理券発行器	サブバッテリー	メインバッテリー	ドアマイクロスイッチ
	運賃表示器（OBCビジョン）	サブバッテリー	メインバッテリー	運転席スイッチor ドアマイクロ
	無線LANユニット	サブバッテリー	メインバッテリー	
クラリオン(株)	マイクジャック(PMA-016)	メインバッテリー		
	インターホン(CI-1000A)	メインバッテリー		ドアマイクロスイッチ
ゴールドキング（株）	電照式公告器	メインバッテリー		
	名刺差し	メインバッテリー		
その他	インターロック			ドアマイクロスイッチ
	光電リレー			ドアマイクロスイッチ
	バスロケーションシステム	サブバッテリー	メインバッテリー	
	ドライブレコーダー	サブバッテリー	メインバッテリー	

VI アイドリングストップ仕様

1 概要

アイドリング・ストップ・システム（以下、I S Sという。）は、運行中の車両が渋滞・信号待ち及び乗客の乗降などによる車両の停止・発進にあわせ、エンジンの停止・再スタートを行うシステムである。

2 動作条件

I S Sメインスイッチ「ON」、エンジン扉「閉」のとき、エア圧力、エンジン冷却水温、バッテリー容量が規定値範囲内であること。また、一度10Km/h以上で走行していること。

（1）マニュアルトランスミッション

① エンジン自動停止

車速が0 Km/h

エンジンがアイドリング回転

チェンジレバーがニュートラル

クラッチペダルが開放

以上が成立したとき。

② エンジン自動始動

エンジンが自動停止中

チェンジレバーがニュートラル

クラッチペダルが踏み込まれている

以上が成立したとき。

③ エンジンの自動始動に失敗した場合

リトライすること。

（2）オートマチックトランスミッション

① エンジン自動停止

車速が0 Km/h

エンジンがアイドリング回転

以上が成立したとき、以下のいずれかの状態であること。

無条件でエンジン停止。（エンジンを停止させたくない場合は、スイッチ操作を行う。）

スイッチ操作によるエンジン停止。（エンジンを停止させたくない場合は、スイッチ操作を行わない。）

② エンジン自動始動

I S Sによりエンジンが停止中

スイッチ操作

以上が成立したとき。

③ エンジンの自動始動に失敗した場合

リトライすること。

3 アイドリングストップに連動する機器

クーラーエバポレーターファン1分間運転

4 その他の機能

（1）エンジン自動停止中は、警報ブザーが鳴らないこと。

（2）スタータースイッチによるエンジンの始動は常時可能であること。

（3）サブバッテリーは、エンジンのクランキングで発生するメインバッテリー電圧の変動による影響を受けない構造であること。

（4）I S SメインスイッチOFFで通常の車両と同様となること。

（5）I S Sメインスイッチに連動するパイロットランプを有すること。

（6）I S S自己診断機能を有すること。

（7）スターターモーターは、使用回数の増加に耐える構造を持つこと。

（8）エンジン自動停止時にエンジンの振動を抑制する機能を設けること。

（9）エンジン自動停止時にバッテリーの負担を軽減する機能を有すること。